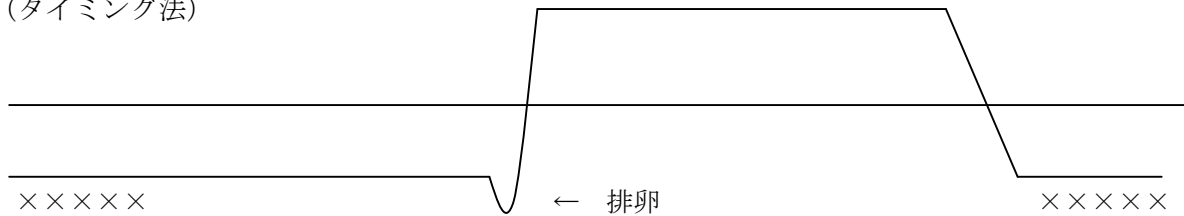


## 不妊症で受診の方へ（緑井レディースクリニック）

妊娠する為にはいろんな因子がすべてタイミングよく働く必要があります。しかし、子宝に恵まれない人では様々な原因があり、複雑に重なっていることが多いようです。

まずどんな原因で妊娠しないのかを知ることが大切で、その為には適切な時期に適切な検査を受ける必要があります。下記の検査表を参考にして下さい。また基礎体温表一つをとっても検査、治療には根気と努力を必要とします。あきらめずに頑張ってください。

(タイミング法)



— 低温相（卵胞期） —	— 排卵前期 —	— 高温相（黄体期） —
月経血培養	超音波検査	着床時期チェック ↓
子宮卵管造影	頸管粘液検査	子宮内膜検査（超音波検査）
（血中ホルモンの測定）	尿中 LH 検査	血中プロゲステロン測定
	ヒューナーテスト（頸管粘液） ← 性生活の翌日	

### #) 女性（妻）の検査

#### <初診時の検査>

基礎体温の測定（朝、寝床の中で口にくわえて測定）

まず、毎日基礎体温表に体温を記録することから不妊症の治療はスタートします。来院のさいは、必ず基礎体温表を御持参ください。

#### <低温（卵胞）期の検査>

- ① 月経時に月経血の培養の検査（月経血の一番多い日）  
⇒ 目的・結核、クラミジアなどの炎症性疾患のチェック
- ② 子宮卵管造影（月経終了後～約1W以内）  
⇒ 目的・子宮の形態異常の有無や卵管の走行・狭窄・閉鎖・癒着の有無の確認
- ③ 場合により血中ホルモンの測定 ⇒ 目的・排卵障害を起こす疾患のチェック

#### <排卵前期の検査>

- ① 経膈超音波検査（卵胞計測）、頸管粘液検査（羊歯状結晶形成）・尿中LH（排卵させるホルモン）測定 ⇒ 目的・・・排卵日の予測（タイミング法）
- ② 性交後検査（ヒューナーテスト）・・・夫婦生活後に来院  
⇒ 目的・・・頸管粘液の中での精子の状態を確認する為（抗精子抗体の有無）

#### <高温（黄体）期の検査＝高温相になって、約1W後、着床時期チェック>

- ① 経膈超音波による子宮内膜検査（着床時期に）⇒ 内膜が十分な厚みがあるかどうか
- ② 血中プロゲステロンの測定 ⇒ 目的・・・黄体機能不全の有無（妊娠維持作用）

### #) 男性（夫）の検査

精液検査（3～4日間禁欲後、自宅にて採取後持参、あらかじめ容器をお渡しします）

⇒ 目的・男性不妊の有無の確認（精液量、精子数、運動性、奇形率など）

☆ 精液検査は早く検査する必要がありますので、来院時受付にお申し出下さい。